

8・7ワークショップのまとめ(案)(一覧表)

資料1

テーマ	WSにおける選定テーマ	出された主な意見等	提案された取組項目
自治と地域力A	地域との交流を促す取組の支援	・ マンションオーナーは建設会社に任せきりである。 ・ 単身マンションをどうするのか、地域交流がまったくない。 ・ 行政がマンション住民にメリットになることを提供すべき ・ 人と人のつながりの中で声かけが一番大事である。	○マンション建設時の情報共有の仕組みづくり ○世代別の交流の場づくり ○学区のルールづくり(区計画に掲載済み)
自治と地域力B	大学と地域との新たな連携の方策 ～京都にもう一人の親がいます プロジェクト～	・ 地域と大学側の双方のニーズと課題 (地域側—大学の窓口・学生の想いがわからない。) (大学(学生)側—地域の窓口がわからない。) 学生の居場所がほしい。地域で学生が育ってほしい。) ・ 地域と大学とを繋ぐ「総合窓口機能」が必要 (リエゾンオフィスの地域版)	○大学認定による地域の世話役の設置
安心・安全A	「歩くまち京都」の推進 —烏丸今出川の自転車対策—	・ 歩道等の環境整備が必要 ・ 歩行者・自転車通行者双方のマナーが大事 ・ 不法駐輪をどうしたらなくせるか	○不法駐輪箇所の解消 (駐車場から駐輪場への切り替え, レンタサイクルの利用等)
安心・安全B	地域における防災・防火活動の 維持・促進	・ 防災教室・訓練へ参加者を増やすための方策 (最新の施設見学, 防災教室を地蔵盆などの行事に 合わせて実施, 防災訓練における参加賞の供与など)	○日常的な見守り活動の実施 ○防災啓発パトロールの実施
	地域の事業所や公共施設等との 災害時に備えた連携体制の構築	・ 地域と事業所が互いに助け合えるように、平素から連携を図る。 ・ 小学校以外に設備が整った公共施設・事業所を避難場所に 指定できるようにしておく。 ・ 災害発生時に、災害対策本部の拠点施設として区役所が 機能できる必要がある。	○事業所との連携の強化 ○防災拠点としての区役所機能の充実
福祉・健康	子育て支援・育児不安の軽減に 向けて地域で取り組めること	・ 出生時に全戸訪問はしているが、それで十分か。 ・ 本当に支援が必要な人に、支援が届いているのか。 ・ 専任の相談委員が少ない。	○子育てや育児の相談窓口の拡充 (時間・広報・料金等の工夫, 子ども110番の活用等)
地域振興	住み続けることができる住まいづくり の促進	・ 自治会と不動産会社がタイアップする。 ・ 町家に留学生を住ませる。 ・ 貸手側と借手側を繋ぐ人がいない。 ・ 地域に溶け込んで暮らせる人を選ぶ。	○学生のまち京都, その特性を生かす ○町家(空家)の活用
環 境	まちの美化の推進 —環境教育・啓発の推進—	・ 街中にある“自然”＝「堀川」を再生する ・ 真の“まち美化”を推進するには、「堀川再生」だけでは不十分 (子供への(親も含めた)環境教育が大切, 人と人がつながる コミュニティづくり)	○ホテルプロジェクトの実施(区計画に掲載済み) ○小水力発電の導入 ○違法駐輪対策